



おすすめ本 朝読書にこんな本はいかが？



元気アップ

読書の秋。元気アップでは、ボランティアさんやその家族・友達におすすめ本を聞いてみました。

図書室にあるもの

☆図書室では、おすすめ本を見やすく並べています。また、十月に新刊も入っていますので一度足を運んでみてくださうぞ。

・マスカレードホテル（東野圭吾）

・俺の妹がこんなに可愛いわけがない（伏見つかさ）

・ワードアートオンライン（川原礫）

・万能鑑定士の事件簿「シリーズ」（松岡圭祐） 1冊は図書室にあります

・椿山課長の七日間（浅田次郎） 急死した椿山課長は、7日間だけ現世に戻ってくる。借りに来ていた生徒からのオススメでハマりました。

・カフール（森絵都）

・きみが見つける物語（あさのあつ希） スクール編 友情編等があり、それぞれいろいろな作家の短篇集になっているので短い時間でも読みやすい。

・博士の愛した数式（小川洋子）

・夜のピクニック（恩田陸）

・東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜（リリー・フランキー）

・十五少年漂流記「ジュール・ヴェルヌ

・夢十夜（夏目漱石）

・ワインビリーの国「キケン」「三匹のおやつ」（有川浩）
わくわくも！ ほのぼのしたエッセイ。

重松清 家族や友達をテーマにした本が多いので、これも身近で考えさせられます。

その他

☆自分で手に入れるならこれもオススメ

・ぼくは16の星（神田茜）

主人公はデュスフレシア（学習障害）の中学生男子、カケルくん。カケルくんのお母さんは我が子が「フッキーの子」ではない現実を受け止められないのですが、当のカケルくんとその周囲の友人たちの思惑はまた違って、そして「フッキーの子」であるカケルくんの友達も何かしら他人には分からない苦悩を抱えて。読後に「アな気持ちになれます…」。

・星やぶりの声「朝井リョウ…六人きよつだいのそれぞれの成長の物語。星やぶりの秘密が明かされたときの驚きと感動！」

・ぼくたちはきこえない大人になる（有吉玉青）…六編のショートストーリーの登場人物は、中学生のあなたに似ているかも。

・學問「山田詠美…友情とも恋愛ともつかない絆で結ばれた四人の少女少女。一歩一歩大人の世界に近づく彼等の毎日…」。

・FRODO BAGGINS データガール（荻原規子）…漫画やアニメにもなっている元々は児童文学の作品。和歌山の山の奥の神社に住んでいるどんくさそうな女の子が山伏の修行をしている男の子と出会い、自分を探して行く話。文庫は六巻までありますが、一冊が薄いのですべ読めてしまします。始まりが中学生なので、親しみやすいと思います。

・村上海賊の娘「和田竜…最近、高校生になった息子のお薦めです。ちよつと読み始めは、入りづらけれど、上巻の終わりが止まらなくなりました」。

・天の光「葉室麟…仏師の修行とその間に起る困難の時代小説です」。

・Nのために「湊かなえ…今期ドラマの原作」。

・突かない数学者「森博嗣…今期ドラマすべてがFになる」の原作者の書いたもの。

・フロストファイア「ロベール」蒲生邸事件（宮野みゆき）

・京大芸人式「日本史」菅公文…「ロザンの言ちゃん」がタイムマシンに乗って過去のいろいろな人に会っては「ジミ」ミを入れていく…日本史を楽しく読む、お話です。

・わたしはマリヲ「危険を顧みず、女の子が教育を受ける権利を訴え続けてきた少女、今年ノーベル平和賞世界でも賞を受賞したマリヲ・ユスフザイさんの記録」。

・吉里吉里人「きりきりごん」井上ひさし

・生協のロクやと「ロクや物語」

☆あまり読書に馴染みのない人にはライトノベルから入ってみるのも手。アニメ化されたものも多いぞ。

・バカとテストと召喚獣「井上堅二」

・はたらく魔王さま！「和ヶ原聡司」

・氷菓「米澤穂信」

・都立のトム&ソーヤ「はやみねかおる」

・ハイ☆スピード「おおじいじ」

・天城プリリアントパーク「賀東招二」

